

画像不正 と疑われないための 画像処理

第5回 研究推進セミナー
『研究不正防止対策』
第一部

得られた原画像を客観的・定量的に評価するためには、画像処理を活用することは必須です。しかし適切な画像処理を行わないと、正確な研究結果が得られないばかりか、画像不正と疑われてしまう可能性もあります。本セミナーでは、自身が研究者であり画像処理のエキスパートである講師を迎えて、研究画像を処理するうえでぜひ知っておきたい知識と手法を、Adobe Photoshop CCを使ったデモを交えながらお伝えしていきます。アドビシステムズ協力のもと開催となります。ぜひご参加ください。

常三島キャンパス

蔵本キャンパス

	常三島キャンパス	蔵本キャンパス
日時	11月19日(木) 13:00	11月19日(木) 16:30
場所	工学部共通講義棟6階 創成学習スタジオ	大塚講堂小ホール

第一部セミナー内容 (60分)

■ 画像不正を疑われないための画像処理

- 背景とデジタル画像の基礎
- 不正と疑われるケース
- 学術雑誌の投稿規定

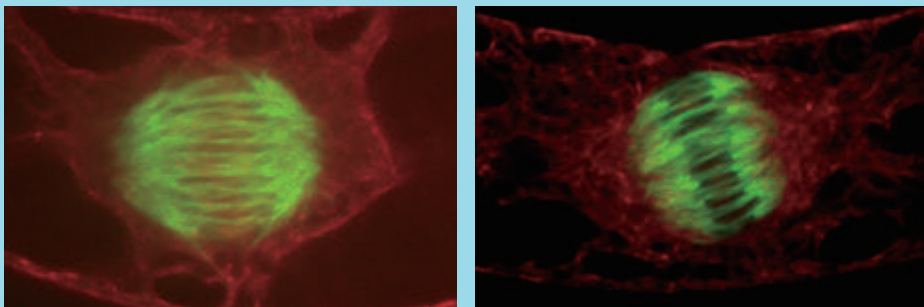
■ Photoshopの積極的な活用法

- 原画像の保持：非破壊型編集
- 履歴ログ：全ての画像処理の履歴を記録

*第二部は『剽窃・盗作検知ソフト iThenticate の利用とその機能の限界について』を行います

論文での画像比較例

下記は画像不正の疑いがあります。誤った画像処理を行ったために問題のある掲載になっています。セミナーではどうすれば正しい処理が行えたのか詳しくご紹介します。



Kojo et al. PSB (2014)

セミナー講師

エルピクセル株式会社
技術アドバイザー
湖城 恵氏

東京大学大学院新領域創成科学研究科 博士課程修了。博士(生命科学)。学部から一貫してライブイメージング研究に従事。博士課程からは画像処理技術の開発にも着手。主な研究対象である植物培養細胞に加え、共同研究では陸上植物やショウジョウバエ等の画像処理を担当。研究の質と顕微鏡画像の美しさが評価され、複数の発表論文が国際誌の表紙を飾る。現在、東京大学特任研究員。エルピクセル株式会社・研究開発本部の技術アドバイザーを兼任。画像不正問題を受け、画像不正の検出をサポートする「LP-exam」の開発に従事。LP-examはエルピクセル社Webページにて無料で公開中。

